

私たちの 友の会ルール

総合ブロック

「とも」の仕分けや 各委員会、支部総会も



「とも」の仕分け作業



「ふれあい支え合い委員会」のようす

みなさん、友の会の本部事務局はどこにあるか知っていますか？総合病院の中にあるか？と思っている人が多いのですが、実は老松診療所の5階にあります。事務局の向かいには約20畳ほどの広い会議室があります。

今回紹介するのは、その会議室です。この部屋では毎月「とも」の仕分けや、編集委員会、健康づくり委員会、ふれあい支え合い委員会、社保平和委員会などが行われています。また支部の総会や、地域訪問の集

合場所としても使われており、一度は皆さんも足を運んだことがあるのではないのでしょうか。

5階にあるので、窓を開けると風がよく通り、夕方になると潮の香りもします。屋上からは夕日や飛行機など、情緒ある風景を眺めることもできます。これからもこの会議室を活用し、友の会活動の発展につなげていこうと考えております。

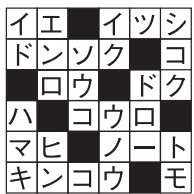
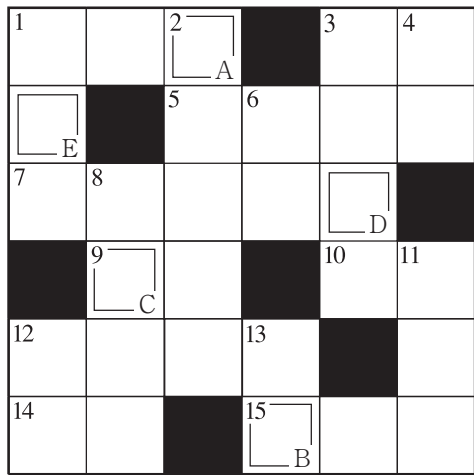


屋上からのながめ

(事務局)

お楽しみクイズ クロスワードパズル

カギを解き、二重ワクに入る文字をABC順に並べてできる言葉は何？



●5月号の答「コドモノ(こどもの日)」
●応募数/106通

- タテのキー
- ①花開く。文明――
 - ②相撲の――は好取組が続く
 - ③恐妻の対？
 - ④三度の〇〇より将棋好
- ヨコのキー
- ①鮑。何と読む
 - ②ほうほうの〇〇で退治
 - ③〇〇下、〇〇磨き
 - ④三〇〇降って地固まる
 - ⑤岩手県南部の製鉄都市
 - ⑥絶対の――到来
 - ⑦負け戦の対
 - ⑧陸上投擲競技の〇〇投げ
 - ⑨GPSで正確な〇〇を知る
 - ⑩――と地獄
 - ⑪車〇〇、座〇〇
 - ⑫ベッドが2つある――ルーム

●応募方法/郵便ハガキにクイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号・友の会に対するご意見等を記入の上、
あて先/〒590-0824 堺市堺区老松町2丁58-1
友の会事務局「お楽しみクイズ」係あてにて郵送ください。
しめきり/2015年8月12日(水)消印有効
●当選発表/厳正なる抽選の上、10人のかたに賞品(図書カード5000円分)を、賞品の発送をもって発表に替えてさせていただきます。
●クロスワードパズル解答はがきに書かれた「ご意見」は、紙面に掲載させていただきます。ご了承ください。

川柳

八十路越し ファミリー葬を 予約する 増田 和幸(中区八田寺町)
誰よりも きれいにしてや 化粧品 長谷川良雄(西区浜寺南町)

俳句

あじさいの 色あざやかに 初夏の花 燈田 廣美(堺区出島町)

短歌

明日は散る 真っ赤なバラに 声かけて
ペットボトルの水やる 夜更け 山岡キミエ(西区神野町)

*お寄せいただいた句を詠む時の情景や思いもお寄せください。
*俳句・短歌・川柳の次回締め切りは、2015年8月12日(水)です。
*特に、俳句・短歌のご応募お待ちしております。

会員さん 紹介 ④

大浜支部 たつむすさん
達 務



達さんは昭和15年生まれで現在75歳。堺の西湊町で生まれ、戦争で焼け残った古い長屋が密集した地域で共同水道・共同トイレという劣悪な住宅環境の中で育ったそうです。父親が中小企業労連堺地協の役員で、中小零細企業で働く人たちの健康を守るために、一口500円の建設資金を各組合に訴えて、耳原病院作りに参加していたそうです。

その影響を受けて達さんは20歳の頃に堺地協の青年部として耳原病院や労働組合に関わるようになったそうです。当時をふりかえって、カマボコ型の病院の職員食堂で、理事者と組合役員たちとの集団交渉や、病院の業務を妨害に来る集団から、病院を守るために玄関前で仲間とピケを張ったことなど懐かしい思い出があるそうです。

現在は大浜支部の世話人として、活発な支部活動を支えておられます。地域の人のために健診活動を積極的に推進したり、社会保障の勉強会を企画するなど、多岐にわたり活躍されています。また楽しい取り組みも好きで、歌や踊りなどを取り入れた支部活動もされています。支部の機関紙「はまかせ」の発行も行い、地域のために様々な情報を発信されています。

(文・写真 事務局)

編集後記

7月号は総会の記事が中心となりました。今までは別刷りで議案書をお配りしていましたが、新聞そのものが8ページになったので、中心になったといっても主な方針しかお伝えできなくなり、申し訳ありません。

この5年間で「友の会」は13支部から22支部となり、今年度から総会は代議

員制に変わりました。班会の開催も3倍以上に増えています。

今、安倍政権のもとで平和・社会保障などがあらゆる面で私たちのくらしが脅かされています。「まちづくり」「健康づくり」を進める「友の会」の活動をもっともっと進めたいと痛感しています。

(前田)

